

コガタナミハグモ種群 (4種)

岡山県：留意

クモ目

Cybaeus hirosimaensis-group

環境省：該当なし

ナミハグモ科

選定理由

移動能力が低いため、地理的分化が激しい。岡山県では4種が側所的に分布し、うち3種は岡山県が分布限界になっている。

存続を脅かす要因

森林伐採

分布状況

コガタナミハグモ種群では、西日本で各種が側所的に分布するが、一部では分布が重複する。

岡山県では、ノジマコガタナミハグモ以外は分布域が狭く、採集も困難である。キビコガタナミハグモは岡山県固有、他の3種は岡山県が分布の限界になっている。

生息情報

体長は各種とも3mm前後。体は全体が淡黄褐色で、腹部は丸い。森林林床の倒木や石の下などに頂点が少し伸びた三角形の袋状の住居を作る。各頂点には穴があり出入り口になっている。

特記事項

岡山県には、アキコガタナミハグモ (*Cybaeus hirosimaensis* Ihara)、ノジマコガタナミハグモ (*C. nojimai* Ihara)、キビコガタナミハグモ (*C. okayamaensis* Ihara)、イズモコガタナミハグモ (*C. tsurusakii* Ihara) が分布する。

文献番号 33

(野嶋宏一)



ヒバナミハグモ、イナバナミハグモ 岡山県：留意

クモ目

Cybaeus hibaensis Ihara*Cybaeus tottoriensis* Ihara

環境省：該当なし

ナミハグモ科

選定理由

移動能力が低いため、地理的分化が激しい。岡山県では2種が側所的に分布し、いずれも岡山県が分布限界になっている。

存続を脅かす要因

森林伐採

分布状況

ヒバナミハグモとイナバナミハグモは西日本の本州に分布する。両種は広島と岡山の県境付近を境界に西にヒバナミハグモ、東にイナバナミハグモが側所的に分布する。

岡山県では北部中国山地にイナバナミハグモが分布し、ヒバナミハグモは西部で局所的に記録されている。両種とも岡山県が分布の限界になっている。

生息情報

体長は両種とも5mm前後。体は全体が淡黄褐色で、頭胸部は淡黄褐色、腹部は淡灰褐色で上面には淡黄色の山形斑がある。森林林床の倒木や石の下などに屈曲の緩いV字状の住居を作る。出入り口は両端2箇所にある。

文献番号 34

(野嶋宏一)



イナバナミハグモ

撮影：野嶋 宏一

